



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <https://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切り捨て

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	38,585	5.9	2,619	△19.6	3,442	△24.5	2,119	△26.8
2018年3月期第1四半期	36,440	5.2	3,258	11.9	4,558	103.4	2,893	134.3

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 1,276百万円 (△75.5%) 2018年3月期第1四半期 5,210百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	43.25	-
2018年3月期第1四半期	59.21	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	164,380	85,036	47.5	1,593.46
2018年3月期	166,461	85,280	47.2	1,602.88

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 78,146百万円 2018年3月期 78,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	20.00	-	30.00	50.00
2019年3月期	-				
2019年3月期（予想）		25.00	-	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	78,200	6.5	6,000	10.5	7,000	△0.6	4,200	7.2	85.67
通期	160,000	6.1	13,000	10.8	14,700	5.9	8,700	△16.4	177.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	49,757,821株	2018年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	715,608株	2018年3月期	756,982株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	49,009,733株	2018年3月期1Q	48,879,497株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は（添付資料）P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結会計期間における世界経済情勢は、好調な米国経済に牽引され、欧州、アジアの主要市場においてもほぼ安定して推移しました。しかし、米国の保護主義、貿易規制が世界の貿易摩擦を引き起こし、金融市場や実体経済に影響を与える可能性が出てきました。東アジア、中東での地政学リスクも持続しており今後の情勢については予断を許さない状況となりました。

日本経済においても、これまで金融緩和政策を背景に実体経済の回復期待が高まっていたましたが、主要市場を巻き込む貿易摩擦の広がりや今後の企業業績や民間消費の動向に不透明感が増す状況となりました。

このような経済環境のもと、当社事業においては、自動車・建設機械業界向け事業及び一般産業機械業界向け事業では、販売は堅調に推移しましたが利益は減少することとなりました。船用業界向け事業は、新造、修繕とも需要の伸びを欠く状況となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は385億85百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益は26億19百万円(前年同期比19.6%減)、経常利益は34億42百万円(前年同期比24.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億19百万円(前年同期比26.8%減)となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、自動車向け製品の販売が国内及び米国市場において堅調に推移するとともに、建設機械市場も好調であり、当セグメントの売上高は253億39百万円(前年同期比5.8%増)となりました。営業利益はプロダクトミックス、労務費増等により14億90百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、プラント向け製品の販売が国内・インド等で堅調に推移したことに加え、半導体業界向け製品も堅調であったことから、当セグメントの売上高は91億20百万円(前年同期比10.8%増)となりました。営業利益は国内における変動費の増加等により8億18百万円(前年同期比24.1%減)となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、新造船需要が引き続き低調に推移したことに加え、修繕需要では欧州において低迷し、当セグメントの売上高は24億24百万円(前年同期比19.2%減)、営業利益は2億8百万円(前年同期比44.8%減)となりました。

[航空宇宙業界向け事業]

当事業は、海外向け補修品が低調であったものの、国内において衛星向け製品等が寄与し、当セグメントの売上高は16億99百万円(前年同期比34.7%増)、営業利益は1億4百万円(前年同期比146.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第1四半期連結会計期間末の資産は1,643億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億81百万円減少いたしました。これは主として現金及び預金が10億25百万円、その他流動資産が10億45百万円、電子記録債権が5億5百万円減少した一方、投資有価証券が6億44百万円増加したことによるものであります。

[負債]

当第1四半期連結会計期間末の負債は793億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億36百万円減少いたしました。これは主として長期借入金が24億5百万円、買掛金が9億48百万円、未払法人税等が8億89百万円、賞与引当金が8億7百万円減少した一方、短期借入金が24億88百万円、その他流動負債が9億63百万円増加したことによるものであります。

[純資産]

当第1四半期連結会計期間末の純資産は850億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億44百万円減少いたしました。これは主として為替換算調整勘定が12億57百万円減少した一方、利益剰余金が6億46百万円、退職給付に係る調整累計額が1億92百万円、非支配株主持分が1億51百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,710	20,685
受取手形及び売掛金	29,009	28,558
電子記録債権	4,821	4,316
商品及び製品	6,401	6,319
仕掛品	7,801	7,927
原材料及び貯蔵品	5,626	5,958
その他	6,449	5,403
貸倒引当金	△111	△116
流動資産合計	81,710	79,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,998	20,792
機械装置及び運搬具(純額)	21,746	21,746
その他(純額)	15,219	15,733
有形固定資産合計	57,964	58,272
無形固定資産		
のれん	3,287	3,148
その他	3,304	3,093
無形固定資産合計	6,592	6,242
投資その他の資産		
投資有価証券	12,698	13,343
その他	7,599	7,572
貸倒引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	20,195	20,812
固定資産合計	84,751	85,327
資産合計	166,461	164,380

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,222	8,273
電子記録債務	3,521	3,580
短期借入金	13,723	16,212
未払法人税等	2,402	1,512
賞与引当金	2,432	1,624
その他の引当金	108	118
その他	10,812	11,776
流動負債合計	42,222	43,098
固定負債		
長期借入金	21,411	19,006
引当金	322	324
退職給付に係る負債	15,964	15,777
その他	1,260	1,136
固定負債合計	38,958	36,245
負債合計	81,181	79,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,393	11,393
利益剰余金	62,375	63,022
自己株式	△390	△309
株主資本合計	83,869	84,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	550	492
為替換算調整勘定	△1,116	△2,373
退職給付に係る調整累計額	△4,761	△4,569
その他の包括利益累計額合計	△5,327	△6,451
非支配株主持分	6,738	6,889
純資産合計	85,280	85,036
負債純資産合計	166,461	164,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	36,440	38,585
売上原価	26,967	29,223
売上総利益	9,472	9,361
販売費及び一般管理費	6,213	6,741
営業利益	3,258	2,619
営業外収益		
受取利息	46	64
受取配当金	9	10
持分法による投資利益	569	664
為替差益	411	—
その他	425	234
営業外収益合計	1,463	973
営業外費用		
支払利息	104	79
為替差損	—	31
寄付金	0	0
その他	59	39
営業外費用合計	164	150
経常利益	4,558	3,442
特別利益		
固定資産売却益	3	6
特別利益合計	3	6
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	16	7
債務保証損失引当金繰入額	8	5
特別損失合計	25	15
税金等調整前四半期純利益	4,536	3,434
法人税等	1,296	975
四半期純利益	3,239	2,458
非支配株主に帰属する四半期純利益	345	338
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,893	2,119

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	3,239	2,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	△58
為替換算調整勘定	1,105	△960
退職給付に係る調整額	186	183
持分法適用会社に対する持分相当額	598	△346
その他の包括利益合計	1,971	△1,182
四半期包括利益	5,210	1,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,853	995
非支配株主に係る四半期包括利益	357	280

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	23,947	8,230	3,001	1,261	36,440	—	36,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63	23	3	—	90	△90	—
計	24,010	8,253	3,004	1,261	36,530	△90	36,440
セグメント利益	1,761	1,078	377	42	3,259	△0	3,258

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇宙 業界向け 事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	25,339	9,120	2,424	1,699	38,585	—	38,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	31	4	—	72	△72	—
計	25,376	9,151	2,429	1,699	38,657	△72	38,585
セグメント利益	1,490	818	208	104	2,622	△2	2,619

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。